

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 シンフォニアテクノロジー株式会社

コード番号 6507 URL <http://www.sinfo-t.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 武藤 昌三

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 総務秘書グループ長

(氏名) 中村 達也

TEL 03-5473-1800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	31,255	△0.7	17	—	△193	—	△177	—
25年3月期第2四半期	31,467	△4.2	△142	—	△352	—	△351	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 459百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △903百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1.20	—
25年3月期第2四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,546	—	25,536	—	—	31.3
25年3月期	82,116	—	25,431	—	—	31.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25,536百万円 25年3月期 25,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	4.3	2,100	50.2	1,600	49.5	1,000	47.1	6.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	148,945,611 株	25年3月期	148,945,611 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	218,986 株	25年3月期	209,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	148,731,884 株	25年3月期2Q	148,743,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想についての事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	
四半期連結包括利益計算書	8
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

※ （別添資料）平成26年3月期〔2013年度〕 第2四半期決算補足説明資料（連結）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境は、海外では中国の経済成長が鈍化するなど不安要素はあったものの、日銀の金融緩和策や日本政府の経済政策により昨年に比べてドル高円安・株高となり景況感は改善しました。また、公共投資が推進されたことにより、実体経済も持ち直しの兆しが見えてまいりました。

このような景況の下で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高につきましては312億55百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。損益面につきましては、営業利益は17百万円（前年同四半期は営業損失1億42百万円）、経常損失は1億93百万円（前年同四半期は経常損失3億52百万円）となり、四半期純損失は1億77百万円（前年同四半期は四半期純損失3億51百万円）となりました。

なお、当社グループの事業構造として、公共・社会インフラ等の設備関連機器の売上が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節の変動があります。

セグメント別の状況は次の通りであります。

モーション機器事業は、クラッチ・ブレーキが増加したものの、プリンタ、サーボアクチュエータが減少したため、事業全体の売上高は138億7百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。損益面につきましては、営業利益は2億77百万円（前年同四半期は営業利益4億72百万円）となりました。

パワーエレクトロニクス機器事業は、自動車用試験装置が増加したものの、社会システム（官公庁向け電気設備）、振動機が減少したため、事業全体の売上高は97億84百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。損益面につきましては、営業損失は1億78百万円（前年同四半期は営業損失2億69百万円）となりました。

サポート&エンジニアリング事業は、半導体搬送システムの設置工事等が大幅に増加し、事業全体の売上高は76億63百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。損益面につきましては、営業損失は53百万円（前年同四半期は営業損失3億8百万円）となりました。

（注）非連結子会社であったSINFONIA TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD. につきましては、重要性の観点から、第1四半期より連結の範囲に含めております。

なお、報告セグメントにつきましては、当社事業本部を基礎とした製品、サービス別に区分し、「モーション機器事業」及び「パワーエレクトロニクス機器事業」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は815億46百万円となり、前連結会計年度末より5億69百万円減少いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が47億67百万円減少したこと、たな卸資産が21億75百万円、有形固定資産が18億50百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は560億10百万円となり、前連結会計年度末より6億75百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が13億31百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は255億36百万円となり、前連結会計年度末より1億5百万円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が4億84百万円、為替換算調整勘定が1億42百万円それぞれ増加したこと、四半期純損失の計上及び配当金の支払等により利益剰余金が5億30百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は前回予想（平成25年5月10日公表）を若干上回り、損益面につきましても、売上増に伴う増益及び利益率の改善により営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みであり、以下の通り修正いたします。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	72,000	1,800	1,400	900	6.05
今回発表予想 (B)	72,500	2,100	1,600	1,000	6.72
増減額 (B-A)	500	300	200	100	—
増減率 (%)	0.7	16.7	14.3	11.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	69,486	1,398	1,070	679	4.57

(ご参考)

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	54,000	1,500	1,200	800	5.38
今回発表予想 (B)	54,000	1,500	1,200	800	5.38
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	53,173	1,175	931	644	4.34

(注) 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

(新中期経営計画について)

当社グループは、本年より、2017年度を最終年度とする5ヶ年の新中期経営計画「BRIDGE 100」を策定し、取組を開始しております。

〔新中期経営計画の概要〕

I. 中期経営計画ビジョン

～“Motion & Energy Control”技術でグローバルに成長～

当社グループにおいて培ってきた“Motion & Energy Control”技術で、ASEAN・中国の経済成長に伴う産業設備投資需要にマッチした製品の投入と、先進国成熟社会におけるエネルギー効率化の加速に対応したソリューションの提供により、当社グループの収益基盤を確立し、グローバルな成長を目指してまいります。

II. 中期経営計画基本方針

2017年に迎える創業100周年に向けて、以下の基本方針のもと、本中期経営計画の目標を達成し、企業価値の向上を実現します。

①中核事業の拡大

4つの中核事業(『航空宇宙事業』、『モーションコントロール機器事業』、『自動車試験装置事業』、『クリーン搬送機器事業』)を拡大させるべく、開発・設備投資、要員を重点的に配分し、事業収益を向上させます。

②グローバル事業の拡大

東南アジア・中国市場のニーズをつかみ、これまで整備を進めてきたタイ・中国の現地法人を中心にグローバル事業を拡大します。

③新分野への挑戦

“Motion & Energy Control”技術と“計測・制御”技術により、再生医療関連産業の成長、福祉の省力化ニーズが期待される「医療・福祉」分野、食の安全・安定供給への期待が高まる「農業」分野での事業化に挑戦します。

④グループ経営基盤整備

事業拡大、グローバル化を進めるために必要な、開発・技術力の強化、生産の最適化、人材の育成、及び迅速な意思決定、効率的な業務遂行を支える基盤の整備を行います。

III. 中期経営計画目標

強固な収益基盤を確立し、2017年度連結売上高1,000億円、経常利益率7.0%以上の達成を目指します。

	12年度実績	13年度予想	17年度目標
売上高	695億円	725億円	1,000億円
営業利益率	2.0%	2.9%	8.0%以上
(営業利益)	(14億円)	(21億円)	(80億円以上)
経常利益率	1.5%	2.2%	7.0%以上
(経常利益)	(11億円)	(16億円)	(70億円以上)
ROA	1.7%	2.5%	8.0%以上
有利子負債残高	315億円	314億円	300億円以下
ネットDEレシオ	1.0倍	1.1倍	0.6倍以下

(注) 上記の〔新中期経営計画の概要〕につきましては、本日、「企業理念制定、及び新中期経営計画「BRIDGE 100」策定に関するお知らせ」として別途開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,737	7,222
受取手形及び売掛金	22,568	17,801
商品及び製品	1,069	1,189
仕掛品	9,257	11,046
原材料及び貯蔵品	4,953	5,219
その他	2,630	2,329
貸倒引当金	△25	△20
流動資産合計	46,190	44,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,151	9,664
土地	14,163	14,567
その他(純額)	3,715	4,649
有形固定資産合計	27,030	28,880
無形固定資産	164	175
投資その他の資産		
投資有価証券	5,559	5,519
前払年金費用	1,198	472
その他	2,038	1,769
貸倒引当金	△65	△60
投資その他の資産合計	8,731	7,701
固定資産合計	35,925	36,758
資産合計	82,116	81,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,327	11,995
短期借入金	17,854	21,127
未払法人税等	558	106
受注損失引当金	187	133
その他	6,620	7,881
流動負債合計	38,548	41,243
固定負債		
長期借入金	13,647	10,314
退職給付引当金	703	727
役員退職慰労引当金	66	52
環境対策引当金	317	317
その他	3,401	3,355
固定負債合計	18,136	14,766
負債合計	56,685	56,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,156	10,156
資本剰余金	452	452
利益剰余金	10,355	9,824
自己株式	△55	△57
株主資本合計	20,908	20,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	1,324
繰延ヘッジ損益	△7	3
土地再評価差額金	3,639	3,639
為替換算調整勘定	49	191
その他の包括利益累計額合計	4,522	5,159
純資産合計	25,431	25,536
負債純資産合計	82,116	81,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	31,467	31,255
売上原価	25,093	24,637
売上総利益	6,374	6,617
販売費及び一般管理費	6,516	6,599
営業利益又は営業損失(△)	△142	17
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	61	54
その他	31	53
営業外収益合計	94	110
営業外費用		
支払利息	206	186
為替差損	7	67
その他	91	67
営業外費用合計	305	321
経常損失(△)	△352	△193
税金等調整前四半期純損失(△)	△352	△193
法人税等	△1	△15
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△351	△177
四半期純損失(△)	△351	△177

四半期連結包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△351	△177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△551	484
繰延ヘッジ損益	16	10
為替換算調整勘定	△17	142
その他の包括利益合計	△551	637
四半期包括利益	△903	459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△903	459
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機 器	パ ワ ー エレクトロ ニクス機器	サポート& エンジニア リ ン グ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,524	10,895	6,047	31,467	—	31,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	452	384	1,611	2,448	△ 2,448	—
計	14,977	11,280	7,658	33,916	△ 2,448	31,467
セグメント利益又は損失 (△)	472	△ 269	△ 308	△ 105	△ 36	△ 142

(注)1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機 器	パ ワ ー エレクトロ ニクス機器	サポート& エンジニア リ ン グ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,807	9,784	7,663	31,255	—	31,255
セグメント間の内部 売上高又は振替高	787	842	1,522	3,152	△ 3,152	—
計	14,594	10,626	9,186	34,407	△ 3,152	31,255
セグメント利益又は損失 (△)	277	△ 178	△ 53	46	△ 28	17

(注)1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

平成26年3月期〔2013年度〕 第2四半期決算補足説明資料(連結)

平成25年11月8日

シンフォニアテクノロジー株式会社

1. 決算概要

(単位:百万円)

		2012年度	2013年度	前年同期比増減	
		第2四半期累計(A)	第2四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
売上高		31,467	31,255	△ 212	△ 0.7 %
営業利益	(%)	△0.5%	0.1%	0.6%	
		△ 142	17	159	-
経常利益	(%)	△1.1%	△0.6%	0.5%	
		△ 352	△ 193	159	-
当期純利益	(%)	△1.1%	△0.6%	0.5%	
		△ 351	△ 177	173	-

2. セグメント別情報

(1) 売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2012年度	2013年度	前年同期比増減	
		第2四半期累計(A)	第2四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
モーション機器	売上高	14,524	13,807	△ 717	△ 4.9 %
	営業利益	472	277	△ 194	△ 41.2 %
パワーエレクトロニクス機器	売上高	10,895	9,784	△ 1,110	△ 10.2 %
	営業利益	△ 269	△ 178	90	-
サポート&エンジニアリング	売上高	6,047	7,663	1,615	26.7 %
	営業利益	△ 308	△ 53	255	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△ 36	△ 28	8	-
合計	売上高	31,467	31,255	△ 212	△ 0.7 %
	営業利益	△ 142	17	159	-

(2) 受注高

(単位:百万円)

	2012年度 第2四半期累計(A)	2013年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B)-(A)	増減率
モーション機器	17,870	14,695	△ 3,175	△ 17.8 %
パワーエレクトロニクス機器	11,361	12,014	653	5.7 %
サポート&エンジニアリング	8,185	9,601	1,416	17.3 %
合計	37,417	36,311	△ 1,105	△ 3.0 %

(3) 受注残高

(単位:百万円)

	2012年度 第2四半期累計(A)	2013年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B)-(A)	増減率
モーション機器	16,547	16,318	△ 228	△ 1.4 %
パワーエレクトロニクス機器	9,882	10,700	817	8.3 %
サポート&エンジニアリング	6,269	8,235	1,965	31.4 %
合計	32,699	35,254	2,554	7.8 %

3. 海外売上高

(単位:百万円)

	2012年度 第2四半期累計(A)	2013年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B)-(A)	増減率
海外売上高	5,959	6,648	689	11.6 %
海外売上高比率(%)	18.9%	21.3%	2.4%	

4. キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2012年度 第2四半期累計(A)	2013年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B)-(A)	増減率
営業キャッシュ・フロー	972	2,660	1,688	173.7 %
投資キャッシュ・フロー	△ 769	△ 1,168	△ 398	-
フリー・キャッシュ・フロー	202	1,492	1,289	636.7 %
財務キャッシュ・フロー	△ 414	△ 647	△ 233	-
現金及び現金同等物の 期末残高	5,279	7,192	1,913	36.2 %

5. 設備投資、減価償却費及び研究開発費

(単位:百万円)

	2012年度 第2四半期累計(A)	2013年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B)-(A)	増減率
設備投資	603	1,947	1,344	222.9 %
減価償却費	1,016	1,046	30	3.0 %
研究開発費	910	895	△ 15	△ 1.7 %